地域医療と高齢者

柴田学園大学短期大学部　生活科　　小　野　美沙子

TEL 0172-32-6151　　FAX 0172-32-6153

e-mail　m-ono@shibata.ac.jp

キーワード	医療福祉　地域医療　医療制度

日本は現在、2025 年に後期高齢者(75 歳以上の方を指します)が約４人に１人となる超高齢社会を迎えようとしています。後期高齢者の増加に伴い、今後は医療ニーズが「治す医療」だけでなく、「出かける医療」「生活を支える医療」「地域医療」へと展開されていきます。

「地域医療」とは、地域住民が抱える健康上の不安や悩みを医療従事者が対応することで、地域住民が安心して暮らすことができるように支える医療活動のことです。この活動は SDGs「3 すべての人に健康と福祉を」「11 住み続けられるまちづくりを」に関連します。超高齢社会になりつつある日本では、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるように支援する社会体制が求められています。これまでの研究を紹介します。

▶後期高齢者医療制度についての一考察　―団塊世代の高齢化の観点から―

日本の団塊世代(1947～1949 年に生まれた世代を指します)の高齢化率と、団塊世代が 2025 年に後期高齢者になることで、後期高齢者医療制度にどのようなメリット・デメリットが発生するかを調査しました。また、高齢化に伴う医療ニーズの変化を調査し、今後は在宅医療・訪問看護・介護などのニーズが高まっていくことを報告しました。

小野美沙子，後期高齢者医療制度についての一考察　―団塊世代の観点から―，東北女子短期大学紀要　53　182-190，2014

▶黒石市における地域医療の現状と課題に関する一考察

自身が居住している青森県黒石市の高齢化率と地域医療関連資源（病院・診療所数・介護保険施設数など）を調査し、県内 10 市の高齢化率と地域医療関連資源との比較を行いました。

また、黒石市よりもさらに高齢化率が高い青森市浅虫地区の地域医療関連資源も調査し、黒石市・浅虫地区の２つのエリアにおいて、地元の資源を活用した特色ある地域医療の取り組みについて報告をしました。

小野美沙子，黒石市における地域医療の現状と課題に関する一考察，東北女子短期大学紀要　55　155-161，2016